

下長中学校地区のまとめ
(下長中・下長小・城北小・高館小)

1. 概要

(1) 児童・生徒数(カッコ内は通常学級数)

	6 年前		現在		6 年後	
	児童生徒数	通常学級数	児童生徒数	通常学級数	児童生徒数	通常学級数
下長中	657	18	653	19	653	19
下長小	447	14	384	12	451	15
城北小	615	19	625	19	519	17
高館小	303	12	273	11	205	7

(2) 部活動

	運動部																文化部						その他								
	陸上	器械体操	水泳	バレーボール	バスケットボール	サッカー	野球	ソフトボール	柔道	剣道	相撲	ソフトテニス	卓球	バドミントン	ハンドボール	新体操	アイスホッケー	スキー	スケート	その他	吹奏楽	合唱		パトロン	コンピュータ	科学	美術	家庭			
下長中	男	○		○	○	○	○		○	○		○	○				○		○												○演劇
下長中	女	○		○	○			○	○	○		○	○				○		○												
下長小					○女		○					○男女																		○駒踊り	
城北小					◎男女	◎男	◎男														○										
高館小					○男女		○																							○音楽	

(「○」：部活動、「◎」：スポーツ少年団、愛好会等)

(3) 学区外通学

指定校	学区外	主な就学校	主な理由	備考
下長中		北稜中	教育的配慮 距離的理由	小田、海上前、高館ニュータウンは距離的理由で北稜中に学区外可能
下長小		城北小	留守家庭	○人は下長町
城北小		下長小	留守家庭	
高館小		根岸小	留守家庭	

2. 寄せられた意見

※下中＝下長中、下小＝下長小、城小＝城北小、高小＝高館小

区分	意見照会		地域意見交換会
	結果	記述意見(主なもの)	当日意見・会場アンケート(当)
1.通学区域	見直すべき		当 ①高館小学区でも、「坂を上りたくない」「PTAの役員をやりたくない」とのことで別の学校に通う子がいる。
	下中	0/11	
	下小	1/17	
	城小	1/14	
	高小	2/12	
2.通学路	注意が必要		当 ①小田の交差点、小田坂は危険が多い。 ②河原木団地付近の樹木が死角をつくっている。 ③城北小学区の通学路や公園の樹木を子どもの安全を考えて切るべき。 ④しっかり除雪してほしい。
	下中	7/11	
	下小	10/17	
	城小	5/14	
	高小	4/12	
3.学校規模 過大:大きすぎる や大:やや大きい 適正:適正である や小:やや小さい 過小:小さすぎる			当 ①規模はなるべく偏りがないようにすべき。
		や大 適正 や小	
	下中	6 5	
	下小	13 4	
	城小	4 10	
高小	9 3		
4.部活動	見直すべき		当 ①教育活動の一環として先生が部活動の監督をしているが、事故防止マニュアルは整備しているか。
	下中	0/11	
	下小	8/17	
	城小	4/14	
	高小	1/12	
5.適正配置 全般	①2年生以降も33人編成を維持すべき。(下中)		
	②1学級あたりの児童数は少ない方がよい。(下小、城小)		
6.その他	③日計ヶ丘小学区を以前のように根岸小・高館小学区に分けてはどうか。(高小)		

3. 論点の整理

学校	論点	備考
下長中	他 ①いわゆる「大規模」校である	・市内最大の19学級653人が在籍。
下長小	意 ①小・中の部活動の連続性への意見が出ている	・下長中に進学する小学校の中で、下長小だけ吹奏楽部がない。
	他 ②下長町は城北小の方が近く、学区外通学が多い	・下長小から城北小への学区外は〇人。一番多い町内は下長町で〇人、一番多い理由は「留守家庭」が〇人。
城北小	意 ①洲先町内が学区で2つに分かれている	・洲先町内が、下長小と城北小に学区が別れており、町内行事等で課題を抱えている。
	②部活動の選択肢が少ない	・児童数が多い割に部活動は4つで、特に女子の運動部はバスケットのみ。(児童数は市内5番目、19学級625人)
高館小	意 ①高館小と隣接の日計ヶ丘小の児童数がともに減少している	・高館小と日計ヶ丘小の距離は約1km。 ・通学区域については、統合、区域拡大、学区外許可などについて両学区から意見が出ている。

(意：寄せられた意見から導出したもの、他：その他、教育委員会で把握しているもの)